



The Association for Overseas Technical Cooperation and Sustainable Partnerships

30-1, Senju-azuma 1-chome, Adachi-ku, Tokyo 120-8534

Tel: 81-3-3888-8256 Fax: 81-3-3888-8242 E-mail: shouhei-au@aots.jp URL: <http://www.aots.jp/>

技術協力活用型・  
新興国市場開拓事業  
(研修・専門家派遣・寄附講座開設事業)

2024年9月

## 募集要項

品質管理研修コース

The Quality Control Training Course

[QCTC]

2025年2月20日～3月7日

## 1. コース開設の背景：

一般財団法人海外産業人材育成協会（AOTS）は、主に海外の産業人材を対象とした研修及び専門家派遣等の技術協力を推進する人材育成機関です。これらの事業を通じて、日本と海外諸国相互の経済発展に貢献するとともに、友好関係の増進にも寄与します。

AOTS は 1959 年（昭和 34 年）8 月に日本で最初の民間による技術協力機関として通商産業省（現・経済産業省）の認可を受け設立され、これまでに日本で実施した研修には、2021 年度（令和 3 年度）までに世界 198 の国と地域から延べ 200,000 人余りが参加したほか、海外で実施した研修にも延べ 230,000 人余りが参加しています。

AOTS は帰国後の参加者や開発途上諸国の産業界からの要望に基づき、様々な研修コースの企画、開発に努めています。

「品質管理研修コース」（QCTC）は開発途上国の製造業の管理者、監督者等を対象とし、参加者が日本の製造業で QC から発展した TQM について講義、演習、討論、企業見学を通じて理論と実践の両面から学び、品質管理の基本を正しく習得することで、現地製造業の管理者、監督者等の QC 的問題解決能力の向上を図ります。

## 2. 対象国：

下記 URL より対象国・地域一覧をご確認ください。

<https://www.aots.jp/hrd/technology-transfer/management/oda/>

## 3. 参加者の人数：

23 名

## 4. 参加資格：

以下の資格を有することが必要です。

- (1) 原則として、製造業において TQM・品質管理の推進に携わる管理者、監督者等で QC 七つ道具の基礎的知識を有する方
  - (2) 年齢が 20 歳以上で、3 年以上の実務経験を有する方
  - (3) 大学卒またはこれに準ずる職歴を有する方
  - (4) 英語による聴講、討論、発表、報告書作成ができる方
  - (5) 心身健康な方
  - (6) 開発途上国または地域に居住の方
  - (7) 学生でない方、軍に籍をおいていない方
  - (8) 過去に AOTS が実施する国庫補助事業の研修制度で来日した方は、帰国後半年（183 日）以内に開始されるコースに応募することはできません。
- \* 勤務先が日系企業、日系企業の取引先企業、今後日系企業との取引を予定あるいは希望している企業の方が望ましい。（日系企業や日系企業の取引先企業、今後日系企業との取引を予定あるいは希望している企業からお申込みいただいた場合、選考時の優先順位が高くなります。）

注意：

- (1) コース参加者は、研修コースの全てのカリキュラムに参加する必要があります。
- (2) 日本へ家族や会社の同僚・部下等を同伴することはできません。
- (3) 参加者は AOTS に対してプログラムの追加を要望したり、自身でプログラムを計画したりすることはできません。このコースの終了後速やかに帰国しなくてはなりません。ただし、日本の受入企業がこのコースの終了後、現地研修を計画し、AOTS の承認を受けた場合はこの限りではありません。
- (4) 日本以外の先進国資本が入った企業からお申込みいただいた場合は、選考時の優先順位が低くなります。
- (5) 本研修は、主に民間企業・団体に勤務する方を対象としているため、中央・地方政府機関からお申

込みいただいた場合は、選考時の優先順位が低くなります。

- (6) 申し込み人数が定員を上回る場合は、日本の受入企業または海外の派遣企業 1 社当たりの参加人数を制限させていただくことがあります。

## 5. 応募方法：

日本国内の法人（親会社等）を通じて申し込む場合と、海外の現地法人が直接 AOTS に申し込む場合では、応募方法、提出書類等が異なりますので、ご注意ください。

- (1) 管理研修参加後に実地研修を希望する場合、受入企業となる日本国内の法人（親会社等）を通じて申し込む必要があります。
- (2) 日本国内の法人を通じて申し込む場合、渡航費は対象となりません。但しアフリカからの参加者を受入れる場合のみ渡航費を対象とします。

### （日本国内の法人を通じてのお申込みの場合）

- (1) 仮申込み：お電話、または E-mail にて検討されている研修の概要（研修対象者の属性、実地研修の有無等）をご連絡ください。そのうえで、以下の応募書類を **2024 年 11 月 19 日（火）** までに、AOTS 研修・派遣業務グループ（1 2. お問い合わせご参照）までご提出ください。

1. 研修申込書（概要） 2. 研修生個人記録並びに研修契約に関する申告書 3. 事前研修レポート

- (2) 本申込み：仮申込み受理の連絡を受けた後、本申込みに必要な書類の準備、段取りなどについて、ご案内いたします。

※ご不明点等ありましたら研修・派遣業務グループまでお問い合わせください。（1 2. お問い合わせご参照）

※上記 AOTS 所定様式は当協会ホームページからダウンロードできます。

【日本語】<https://www.aots.jp/hrd/technology-transfer/download/#kanri-shinkokoku>

### （海外の現地法人から AOTS に直接お申込みの場合）

AOTS 海外協力機関を通して、以下の応募書類一式を PDF・エクセル両方の形式で、**2024 年 11 月 19 日（火）** までに AOTS 海外統括部に到着するよう提出してください。

応募書類の提出期限は、各機関によって異なりますので、AOTS 海外統括部（1 2. お問い合わせご参照）にお問合せください。

お申込者には AOTS 海外協力機関による面接をさせていただきます。

- (1) 研修申込書、研修生個人記録申告書（AOTS 所定様式：手書きの記入は避けてください）

※PDF・エクセル両方のソフトコピーを提出

- (2) 日本企業との取引および日本市場への参入に関する調査票 ※エクセル

- (3) 問診書（AOTS 所定様式：手書きの記入は避けてください） ※PDF

- (4) 研修生個人情報取り扱いについて（AOTS 所定様式） ※PDF

- (5) 海外旅行保険承諾書（AOTS 所定様式） ※PDF

- (6) 研修契約に関する申告書（日系派遣企業用） ※PDF

- (7) 勤務先概要を紹介する資料 ※PDF

- (8) 顔写真データ（データタイトルに氏名を入力してください） ※JPEG または PDF

- (9) パスポートコピー ※PDF

※パスポートをお持ちでない場合は、自動車免許証コピーや ID カードコピー等（公的機関により発行されたもので、写真があり、ローマ字で氏名、生年月日が記載されているもの）を提出してください。

- (10) 事前研修レポート及び理解度テスト ※WORD

注意：

※他にも必要に応じて書類を求めることがあります。

※上記 AOTS 所定様式については AOTS 海外統括部（1 2. お問い合わせご参照）にお問合せください。

提出された応募書類は、2024 年 12 月 19 日（木）の審査委員会で審査されます。審査結果は審査委員会終了後、AOTS より連絡いたします。

注：応募者が締切日時点で 23 名に満たない場合、本コースを中止または延期する場合があります。

## 6. 研修コースの概要：

### ■ 目的

本コースでは、企業活動における品質全般に対し、その維持・向上を図っていくための経営管理手法の Total Quality Management (TQM) を取り上げ、日本企業が実践している TQM への理解を深め、TQM・品質管理活動の推進の正しい進め方と経営者・管理者の役割を理解するとともに、QC 的視点での問題解決能力向上を目的とします。

### ■ 期待される効果

- (1) 日本企業が実践している TQM 活動の基本を正しく理解することができます。
- (2) TQM 活動の推進における管理者の役割を明確に認識することができます。
- (3) TQM 推進に必要な仕組みや手法を実践的に使えるようになります。

### ■ 期間

2025年2月20日（木）～3月7日（金）（16日間）

### ■ 内容

上記コンセプトに基づき、本コースでは下記の内容について学びます。

#### 【第一段階】

TQM の基本としてその概念とその進め方、及び QC 的ものの見方・考え方の概要を学ぶ。

#### 【第二段階】

日本の TQM 実践において重要な「日常管理と方針管理」、「品質保証」、「生産システム」、「QC サークルによる人材育成」について、講義、演習（ケーススタディ及びシミュレーション）、企業見学を通して体系的に学び、日本企業の強みについて理解を深める。

#### 【第三段階】

QC 的視点による「問題解決と継続的改善」について「球Cゲーム\*」という各グループで測定データを活用した実践的演習を通じて QC ストーリーとして取りまとめ、グループ毎に発表し、帰国後の自社の課題に向けた TQM 推進の取り組みに対する自身の役割を認識する。

### \*球Cゲーム

簡単なボールを使ったゲーム（下記写真参照）を集団で行いながら、競争心（遊び心）を満足させつつ、QC の問題解決アプローチを学ぶグループで取り組む演習。

#### 【球Cゲームの特徴】

- パターゴルフやパチンコに似ていて、参加者の競争心をあおる。
- シンプルな仕掛けで、ボールの転がし方が多様なため、改善要素が大きい。
- 「人」の要素を排除できるため、道具の標準化へのアプローチがわかりやすい。結果が出やすい。
- 誰でも平等に参加できる。専門用語がない。
- QC ストーリーを実際のデータで実践できる。必要に応じて、繰り返しデータを取ることができる。
- QC 七つ道具を使用することができ、理解しやすい。
- 「現物」、「現実」、「現場」での作業の原則を肌で感じることができる。
- 短時間で「なぜ、どうして」を問う深い分析が体感できる。
- 参加者個々の能力に応じた研修を行うことができる。

初級クラス：QC ストーリーの各ステップにおける QC 手法の使い方やアプローチを学ぶ。

中級クラス：QC ストーリーに沿って、QC 技法が使える受講者が問題を解決する。

上級クラス：テーマを与え、各自で問題を解く。



コースは通常午前3時間、午後3時間の講義からなり、夕方にはグループ討論が行われます。  
日程表（予定）をご覧ください。

■ 使用言語

講義、企業見学、演習は英語あるいは英語通訳付で行われます。コースで使用する資料と教材は英語で作成されます。

■ コースディレクター

西 敏明 岡山商科大学経営学部教授 学部長

日本品質管理学会理事、デミング賞委員会委員。大阪市立大学大学院理学研究科後期博士課程修了(理学博士)。書著:「ビジネスのための経営統計学入門」日科技連出版社(単著)など。企業・組織における品質管理・品質経営のあり方や、官能評価方法とそのモデル化を主要なテーマとし、研究に携わっている。

■ 研修場所と宿泊施設（予定）

AOTS 関西研修センター(TKC) <http://www.aots.jp/jp/center/about/kkc.html>

〒558-0021 大阪府大阪市住吉区浅香1丁目7-5

電話：06-6608-8260（受付） ファックス：06-6690-2678

## 品質管理研修コース[QCTC] 日程(案)

2025年2月20日～3月7日

AOTS 関西研修センター(予定)

日付	午前	午後	
2月20日 (木)	(来日)		
20日 (木)	オリエンテーション 開講式	【講義】TQMの基本 ・TQMの基本的概念、歴史的変遷 ・品質の定義、管理との違い ・TQM推進のための組織 ・TQMとその効果、新しい課題	
21日 (金)	【講義】TQMの進め方とQC的ものの見方・考え方 ・QCストーリーの意義 ・QCストーリーの活用方法	【演習】QC的ものの見方・考え方 ・事例を用いた新製品開発に向けたQCストーリーの演習 ・マップ、SWOT分析、クロス表の作成、分析の演習	
22日(土)	休日		
23日(日)	休日		
24日 (月)	【講義】方針の策定と展開 ・方針管理の進め方とその手順 ・日常管理の進め方と必要な管理項目 ・機能別管理の構造とその進め方 ・方針管理、日常管理、機能別管理の関係	【演習】QC工程表の作成 ・QC工程表の作成演習	
25日 (火)	【講義】生産システムの確立 ・生産システムの基本 ・資材所要量計画(MRP)の基本 ・JIT(カンバン方式)の基本 ・MRPとJITの融合方法	【講義】生産システムの事例研究 ・MRPによる生産システムの構成方法、および工場への生産指示の方法の理解 ・カンバンシステムを組み込むための要点の理解	
26日 (水)	【講義】工程の管理と改善 ・QC七つ道具の各ツールの理解、データのまとめ方 ・PDCAによる工程管理の理解 ・工程の改善活動、問題解決の手順、方法		
27日 (木)	(企業 遠隔等 地)見学	【見学】QCサークル活動事例①	【見学】TQM推進事例①
28日 (金)		【見学】QCサークル活動事例②	【見学】TQM推進事例②
3月1日(土)	休日		
2日(日)	休日		
3日 (月)	【講義】QCサークルによる人材育成 ・経営の視点における改善活動の意義 ・QCサークル活動を通じた人材育成の理解 ・QCサークル活動における推進者の役割の重要性 ・問題解決の方法、手順	【演習】QCサークルの活性化策の作成 ・QCサークル活動の活性化をテーマに特性要因図・系統図の演習	
4日 (火)	【演習】問題解決と継続的改善の体験学習(球Cゲーム) ・QCストーリーに沿って、各技法を用い、発射台から打ち出されたゴルフボールの停止位置の精度改善する問題解決と継続的改善の演習 ・データの収集		
5日 (水)	【演習】問題解決と継続的改善の体験学習(球Cゲーム) ・同上及びデータの分析		
6日 (木)	【演習】問題解決と継続的改善の体験学習(球Cゲーム) ・同上及び問題解決		
7日 (金)	【演習】問題解決と継続的改善の体験学習(球Cゲーム) ・最終発表	総合質疑/修了式	
8日 (土)	(帰国)		

注意:

- (1) 上記のスケジュールは、講師や協力企業の都合、その他のやむをえない事情のために変更されることがあります。
- (2) 夕食後グループ討論を行うことがあります。
- (3) 土曜、日曜は原則として休日ですが、必要に応じて講義の予定が組まれることがあります。

## 7. 到着日及び出発日について：

参加者は、原則として研修開始日の前日に日本に到着し、研修終了日の翌日に日本を出発することとします。

## 8. 経費：

## &lt;日本国内の法人からお申し込みの場合&gt;

以下の試算例をご参照ください。

いずれの試算例も、コース開始前日 2/19 来日・終了日翌日 3/8 帰国 16 日コース  
関西国際空港・関西研修センター間移動の場合です。

## 【試算例 1】中堅・中小企業の場合 補助率 2/3

(日本円)

研修費用	総額	補助額	分担金
1. 受入費	203,540	[2/3] 135,693	[1/3] 67,847
2. 研修実施費	531,000	337,000	194,000
合計	<b>734,540</b>	<b>472,693</b>	<b>261,847</b>

## 【試算例 2】大企業（一般分野）の場合 補助率 1/3

(日本円)

研修費用	総額	補助額	分担金
1. 受入費	203,400	[1/3] 67,800	[2/3] 135,600
2. 研修実施費	531,000	277,000	254,000
合計	<b>734,400</b>	<b>344,800</b>	<b>389,600</b>

## 【試算例 3】大企業（重点分野）の場合 補助率 1/2

(日本円)

研修費用	総額	補助額	分担金
1. 受入費	203,400	[1/2] 101,700	[1/2] 101,700
2. 研修実施費	531,000	308,000	223,000
合計	<b>734,400</b>	<b>409,700</b>	<b>324,700</b>

※受入費は下記受入費基準額一覧をもとに計算しております。そのほか、国内移動費（関西国際空港・関西研修センター間）および厚生費（管理研修期間中の海外旅行保険代等）が含まれます。

※渡航費は補助対象外となります。（中堅・中小企業のアフリカ受入の場合を除く。）

※研修コース参加後に現地研修をご希望の場合、経費については、AOTS企業連携部 研修・派遣業務グループ（12. お問い合わせご参照）にお問い合わせ願います。

※中堅企業とは資本金 10 億円未満の企業、中小企業とは中小企業基本法に規定する中小企業、一般企業とは中堅企業、中小企業以外の企業をいいます。但し、資本金又は出資金が 10 億円以上の法人に直接又は間接に 100%の株式を保有される事業者は中堅・中小企業としません。

※重点分野とは大企業のみが対象で、通常 1/3 の国庫補助率を 1/2 に引き上げられる案件で以下のいずれかに該当するものをいいます。

- (1) 実地研修が、開発途上国・地域の産業発展に大きく寄与する技術協力と認められるもの(新法人や新工場の立ち上げや先進的な新製品・新サービスの立ち上げの対応等(サプライチェーンの多元化・強靱化)に大きく寄与する案件を含む)
- (2) 海外進出先の対象国・地域がアフリカであるもの

#### ◎受入費基準額一覧

AOTS 研修センター 宿舎費・食費	来日日のみ	9,020 円/泊
	来日日以外	9,900 円/泊
研修旅行時	宿舎費	14,500 円/泊
	食費	2,750 円/泊
雑費		1,040 円/泊

※管理研修終了後、実地研修を実施することができます。

その場合、以下の実地研修費が補助対象となります。

実地研修費	AOTS 基準	備考
実地研修に必要な経費に充当 (実地研修期間中における研修用資材、研修生の交通費、受入企業の指導員の人件費などの諸経費に充当するもの)	大企業 3,360 円/日	・日額単価・暦日 ・研修生への支払い方法は現物提供
	中堅・中小企業 5,190 円/日	

#### <海外の法人からお申し込みの場合>

英語版募集要項(The Program Outline)をご参照下さい。下記 URL より該当コースの募集要項をダウンロードください。

<https://www.aots.jp/hrd/technology-transfer/management/course/>

#### 9. 査証 (V I S A) の取得について :

##### (1) 在留資格

日本で研修するために必要な在留資格は「研修」です。

##### (2) 査証の取得

参加者は、AOTS が発行する「GUARANTEE LETTER」等必要な申請書類をもって自身で在外日本国大使館/総領事館 (以下「在外公館」とする) にて「研修」査証の申請、取得をしてください。ただし、申請書類が本省照会となり時間がかかる場合があるため時間に余裕をもって申請することを強くお勧めします。

##### (3) 注意事項

既に「短期滞在査証」、「短期数次査証」、「APEC・ビジネス・トラベルカード (A B T C)」等、「研修」以外の査証を取得している方、または査証免除国・地域からの参加者は、既存の査証が日本での研修コース参加という滞在資格に合致していることを事前に、必ず最寄りの在外公館にて事前確認してください。

#### 10. 海外旅行保険の付保について

AOTS は、参加者に対し日本に到着した時から、日本を出発するまでの期間を補償対象とした海外旅行保険を付保します。付保内容は傷病により医療機関で診療を受ける際の医療費と賠償責任・救済費用で構成されています。別紙を参照の上、研修申込時に海外旅行保険付保に対する同意の意思確認のためサイン済みの同意書を提出してください。



## 1.1. 個人情報の取扱いについて：

AOTS が取得する応募者の個人情報については以下のとおり取扱います。

- (1) 個人情報の管理者： 一般財団法人海外産業人材育成協会 総務企画部長  
連絡先： 総務企画部 総務・人事グループ  
電話： 03-3888-8211 E-mail: [kojinjoho-cj@aots.jp](mailto:kojinjoho-cj@aots.jp)

(2) 利用目的

ご提供いただいた個人情報は、参加者受入及び研修実施に関する事務手続きのために利用します。  
それ以外の利用目的または法令に基づく要請の範囲を超えた利用はいたしません。

尚 AOTS の個人情報保護方針は、<http://www.aots.jp/jp/policy/privacy.html> をご覧ください。

## 1.2. お問い合わせ：

一般財団法人 海外産業人材育成協会

日本国内の法人を通じてのお申込の場合

企業連携部 研修・派遣業務グループ

住所 〒120-8534 東京都足立区千住東1丁目30-1

電話：03-3888-8221

Fax：03-3888-8428

E-mail: [kigyo-inquiry-az@aots.jp](mailto:kigyo-inquiry-az@aots.jp)

海外の法人から直接のお申込の場合

海外統括部 海外協力第1グループ

住所 〒120-8534 東京都足立区千住東1丁目30-1

電話：03-3888-8256

Fax: 03-3888-8242

E-mail: [shouhei-au@aots.jp](mailto:shouhei-au@aots.jp)

**PRE-TRAINING REPORT****The Quality Control Training Course  
[QCTC]**

This document will be used as a reference material in 1) the screening process of applicants and 2) the group discussion and the presentation to be held during the program by sharing with lecturers and other participants. Therefore, the applicant is requested to fill in all of the items clearly and concretely.

**\*AOTS will not use this information for any other purposes other than an AOTS training program.**

Note: Please fill in the following items by using a personal computer or similar equipment in English. Handwriting should be avoided.

1. Your name	
2. Your country	
3. Name of your company/ organization	
4. Outline of your organization  (Please give a brief description or outline of your company/organization. In addition, please also attach a brochure of your company/organization if available)	
5. Your position and department  (preferably by attaching an organizational chart indicating your position)	
6. Your duties in detail	

7-1. Present activities for quality improvement in your organization	
7-2. Does your organization organize any QC circle activities? <span style="float: right;"><input type="checkbox"/> Yes    <input type="checkbox"/> No</span>	
8. Most critical problem you are now facing in your quality improvement activities	
9. Has the spread of coronavirus infection affected your company's quality control activities? If so, how?	
10. How have the depreciation of the Japanese yen, high oil prices, and high material prices affected your company's quality control activities?	
11. Your expectations of the program in relation to the described problems	

## QCTC Comprehension Test

Please take the online test, by accessing the following URL or scanning the following QR code with your PC or smart phone.

After taking the test, please write down your Response ID, which will be displayed after the test or sent to your designated email address, in the field below.

### QCTC Comprehension Test URL

**<https://survey.zohopublic.com/zs/LqD4Em>**

### QCTC Comprehension Test QR Code



<b>Response ID</b>	
--------------------	--